

西原村議会だより【ゆうすい】

第120号 令和3年2月4日発行

Yūsui

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

No.120
2021.2.4

CONTENTS

- ◆12月定例会／P2～3
 - 令和2年度
 - 西原村一般会計補正予算
 - 令和2年度
 - 西原村特別会計等補正予算
 - 質疑応答
- ◆12月定例会／P4～5
 - その他の議案
 - 令和2年度第4回定例会
 - (工事請負変更契約の締結について)
 - 陳情審議
 - 令和2年度第2回熊本県後期高齢者
 - 医療広域連合議会報告
 - 令和2年第3回
 - 阿蘇広域行政事務組合議会報告
- ◆一般質問／P6～8
 - 自然災害から命を守る取り組みについて
 - 総合型スポーツクラブの進捗状況について
 - 通学路の見直し及び安全対策について
 - ICTタブレット使用までのスケジュール
 - タブレット整備後の課題について
 - 熊本地震の復興状況について
 - 熊本地震復興に伴い記念碑の建立について
 - よこいきなごせ／P9
 - 我が国3大脅威の現況を思う!!
- ◆令和2年度第1回西原中学校生徒議会定例会／10～11
- ◆令和2年11月13日8名の西原中学校生徒が登壇
- ◆職場からごんごんには・編集後記／P12

どんどや祈願!!

西原村の
無病息災・五穀豊穡
を願って!!



Nishihara VILLAGE



にしはら保育園に
自動体温測定器と
自動手指消毒器を設置

高齢者や子どもたちを守る!!
新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金として
国より3,550万円追加補正



子育てひろばに
空気清浄機を設置

12月
定例会

令和2年度西原村 一般会補正予算(第9号) 歳入歳出それぞれ1億8015万円を追加し 予算の総額78億4,584万円に!!

【主な歳入】

法人事業税交付金……1,190万円
国庫支出金……5,150万円
県支出金……2,186万円
繰入金……6,787万円
村債……2,700万円

【主な歳出】

総務費(総合体育館)……5,756万円
◆防災備蓄倉庫新築……2,564万円
◆野外トイレ棟新築……2,883万円
農林水産業費……4,752万円
◆構造改善センター空調換気設備工事
……4,350万円

12月8日～11日の4日間開催
令和2年度西原村一般会計予算(第9号)他
条例の制定3件、特別会計補正予算4件、
工事請負変更契約の締結4件村長提出議
案を審議し、全ての議案を原案通り可決。
10日には3人の議員が一般質問を行い市政
について質問した。



▲改修が待たれる
構造改善センターの空調

令和2年度西原村 特別会計補正予算

	《補正額》	《予算総額》
国民健康保険特別会計	21万円増	9億8,505万円
介護保険特別会計	458万円増	8億4,218万円
後期高齢者医療特別会計	195万円増	1億7,174万円
中央簡易水道特別会計	増減なし	1億1,915万円



一般会計補正予算から 質疑応答



建設中の総合体育館

【問】防災備蓄倉庫と野外トイレ、合わせて5,800万円。建物に体育館があるがその周りの防災公園・施設等がどんな形で出来るのか。

【企画商工課長】体育館西側のほうに屋外トイレ、それと浄化槽と屋外備蓄倉庫を建てる。

【問】防災公園の図面は出来ているのか、また公園事業は予算的にはどうか。

【企画商工課長】総合体育館がまず終わって体育館の周辺及び周りの公園の整備を順次進めていく。約10億円程の事業費を考えている。



森林山村多面的事業による整備状況

【問】防災公園等の整備事業の財源、内訳について。

【企画商工課】防災備蓄倉庫、緊急防災事業という形で2,700万円ほど借りる。

【問】滝地区の糸舞季の件について、本年10月31日に管理者が終了する。今後、西原村地域おこし隊の活躍はできないか。

【企画商工課長】地域おこし協力隊は現在3名企画商工課で雇って今後糸舞季の運営活動についても今から検討していきたい。

【問】農林水産費の林業振興費負担金補助が計上されているが、この事業とは何か。

【産業課長】事業主体は森林組合連合会で地域の住民森林組

有者等地域の実情に応じた3名以上で構成する活動組織が実施する里山の保全、森林資源の利活用等の取り組みを援助するもの。

【問】感染症の緊急の補助金が子育てひろばに出ている。コロナ禍である今、子育てひろばは活用されているのか。

また、コロナ禍で長期閉鎖となった場合、委託料の削減はあるのか。

【住民福祉課長】春先のコロナの状況により一時閉鎖したこともあるが、委託料は支払いに対する補助金であるので事業実績と支払い額に伴い補助金は補助させていただく。

【問】中学校ランチルームの改築設計は。また、授業に対する配慮は。

【教育課長】来年度から2か年計画で着手。その間、給食は止めないで教室で食べていただく。既存の建物の解体においては、噴煙、騒音で給食・授業に影響があるので、休み中に行う。

【問】本村におけるマイナンバーカードの交付状況はどれだけか。

【住民福祉課長】マイナンバーカードの交付状況について申請が

1,228件、交付枚数1,100件、率になると村民の16.3%の方がマイナンバーカードを取得していることになるが、健康保険証等については来年3月からというところで通達が来ている。

【問】有害鳥獣のイノシシ・鹿の頭数が増えているのか。

【産業課長】計画では、鹿50頭に対して136頭。イノシシ180に対して199頭ということで大増に増加している。



村貸出のイノシシ捕獲用わな

【問】西原村独自でコロナ対策としてプレミアム商品券を発行したが、その状況と問題点はないか。

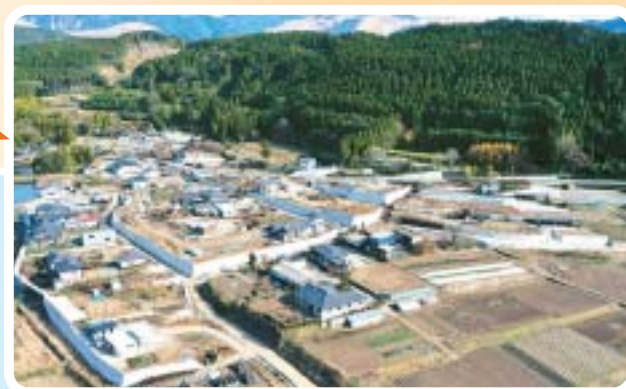
【企画商工課】対象者6,768名に対し、購入者5,188名76.7%が購入。23.3%が未購入。高齢者の方が未購入。今後、検討していく必要がある。

『その他の議案』

- 議案第103号 地方税法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 《主な内容》 介護保険料・後期高齢者医療保険料・保育料等の延滞金の見直し
- 議案第104号 西原村保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 《主な内容》 条文中の保育の認定基準、「同居の親族（長期間入院等をしている親族を含む）を常時介護又は看護していること」に改正
- 議案第105号 西原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
 《主な内容》 国民健康保険税の減額に係る判定所得基準の見直し

令和2年度第4回定例会（工事請負変更契約の締結について）

議案	工事名	業者名	変更前契約金額	変更後契約金額
第111号	大切畑地区大規模盛土滑動崩落対策工事	八方・宇都宮特定建設工事共同企業体	3億5,240万2,461円	3億9,864万8,981円
第112号	宅地耐震化推進（大規模）滑動崩落対策工事《下布田》	緒方・長田特定建設工事共同企業体	2億5,690万6,390円	3億2,571万5,232円
第113号	小規模住宅地区等改良工事《下布田》	緒方・長田特定建設工事共同企業体	1億3,382万5,215円	1億7,122万73円
第114号	宅地耐震化推進（拡充）滑動崩落対策工事《瀧》	日置工業株式会社	1億428万円	1億2,128万4,900円



変更契約された下布田地区工事現場

陳 情 審 議

【陳情の要旨・内容】

地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情
 望まざる受動喫煙を防止し、喫煙者も非喫煙者もお互いが気持ちよく生活できるよう、
 地方たばこ税の一部を活用して喫煙環境を整備して頂きたい

【陳 情 者】

肥後大津たばこ販売組合 専務理事／坂本健一

【審査の結果】

採 択



令和2年第2回 熊本県後期高齢者医療広域連合議会報告

組合議員/堀田直孝

定例会令和2年11月16日に熊本県市町村自治会館において開催
本議会では、議第9号から第15号までの7つの議案が上程されました。

【主な事項については】

議第11号	令和元年度熊本県後期高齢者医療広域連合 一般会計歳入歳出決算の認定では、
	歳入総額 ……………3億802万円
	歳出総額 ……………2億5,444万円
	歳入歳出差引残額 ……………5,358万円
議第12号	令和元年度熊本県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定では、
	歳入総額……………2,960億2,848万円
	歳出総額……………2,876億6,783万円
	歳入歳出差引残額……………83億6,065万円



◆全ての議案におきまして採決の結果、
賛成多数で可決されました!!

令和2年第3回 阿蘇広域行政事務組合議会報告

組合議員/上野正博

西原村は、大阿蘇環境センター蘇水館（し尿処理施設）と養護老人ホーム湯の里荘に加入しています。
湯の里荘は現在、定員50名に対し49名の入居者、そのうち西原村は5名の入居者がおられます。

【一般会計】

令和元年度 阿蘇広域行政事務組合
一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額	……………30億8,350万円
歳出総額	……………30億3,267万円
差引額	……………5,083万円
西原村負担金	……………5,874万円

【特別会計】

令和元年度 養護老人ホーム湯の里荘
特別会計決算認定

歳入総額	……………1億5,348万円
歳出総額	……………1億4,026万円
差引額	……………1,322万円
西原村負担金	……………1,243万円

西原村負担金合計……………7,117万円

Questions

西口 義充 議員

一般質問

自然災害から命を守る取り組みについて

村 長／対策を講じ一定の効果を得ている!!

総合型スポーツクラブの進捗状況について

教育長／体育館完成へ向けて
スポーツ団体や体育協会へ要望を行っている。

自然災害からの
取り組みについて

【西口】異常気象による災害が日本各地で発生しており令和2年台風10号は想定外の強風で恐怖を感じた。

そこで、緊急時、体の不自由な高齢者や介護が必要な方達の避難支援と避難場所はどう考えておられるのか。

【村長】避難を希望された方達の支援は大きな課題として認識している。スムーズな避難が出来る体制に向け、消防団・自主防災組織・民生委員・各関連施設職員等と連携が出来る様検討して行きたい。
特に新型コロナウイルスによる密を考へ避難所開設には万全を期して望みたい。



総合型スポーツクラブの
進捗状況について

【西口】本村でのスポーツクラブ団体等は何団体あるのか。

また、両小学校の児童数と、スポーツクラブ等に加入している児童はどれ位いるのか、又、所属していない児童はどこで運動しているのか。

【教育長】西原村体育協会の加盟は12団体ある。両小学校の児童数は山西小341名、河原小61名、各小学校のクラブ数、山西小音楽クラブ10名、河原小卓球クラブ6名、自転車クラブ8名、今年はコロナの為、自粛している。
又、村内の社会体育団体、村外のスポーツ団体は文化的な活動を入れると334名、90%の生徒が行っている。今後は他の生徒にも支援出来るよう考えて行きたい。
【西口】総合体育館及び防災公園完成後、この施設を使った健康促進や体力増進の計画は。
【教育長】体育館完成へ向けて

村内既存のスポーツ団体や体育協会へ要望を行っている。また、県の体育協会にも相談し総合型スポーツクラブの発足を考えていく。



通学路の見直し及び
安全対策について

【西口】現在、中学校指定の通学路で農道（旧建設省・土地改良区）が震災後、路面が悪く安全と防犯面で心配している。
防犯灯の設置はできないか。
【村長】ほ場整備が行われた農道内を通学路として指定されて

いるが旧建設省・土地改良区の道路であり、防犯灯を設置する場合管理者の承認が必要であり、又、防犯灯設置による農作物への害虫影響等も考えられ、農地所有者の承諾が必要になってくる。今のところは村道ではないので設置対応は出来ないと考えている。



新所公民館前の農道



General

尾崎 幸穂 議員

一般質問

ICTタブレット使用 までのスケジュール

【尾崎】本村の児童、生徒に対し1人に1台学習用ICTタブレットが納入予定になっているが、使用できるようにするまでのスケジュールは。

【教育課長】

《令和2年12月現在》

◎LAN整備、

接続機械の整備完了。

《令和2年12月末》

◎充電保管庫納入予定

《令和3年1月末》

◎タブレットは納入予定

◎タブレット納入後

・接続環境の整備

・有害サイトのフィルタリングの設定

・ID・パスワードの設定

使用、設置要綱などの取り決め。

《令和3年1月末》

◎試験運用

《令和3年3月》

◎本格運用

ICTタブレット使用までのスケジュール

教育課長／令和3年1月末より試験運用、3月本格運用へ

タブレット整備後の課題について

教育長／教職員のスキルアップ、ICT支援員の配備、

遠隔授業を行う為の整備が必要である。

本村ではデジタル教科書やドリルなどは導入しないとのことでしたが、教師への研修やサポートを行うICT支援員などの対応は。

【教育長】情報教育担当者の研修を含めて4回ほど行っている。教員の移動などもあるので引き続き研修を行っていく予定。

ICT支援員は両小学校に1名中学校に1名配備する計画。

【尾崎】ICT学習環境の状況とタブレット整備後の課題は。

【教育長】教師用のPCカメラ、大型液晶モニターなど不足分の補充や遠隔授業が出来るように



タブレット整備後の 課題について

【尾崎】長期休業などで学習の遅れが出ないように、通信環境が無い家庭はLTEなどで対応して頂きたい。



マイクやカメラ、スピーカーなどの整備も必要である。

4月の段階で家庭のWi-Fi環境整備状況は6〜7割程度、

臨時休校になった場合学校と家庭をオンラインで結ぶ必要があるが慎重に丁寧に行なっていく。



General Questions

高本 孝嗣 議員

一般質問

熊本地震の復興状況について

村 長／令和3年3月末までに完了予定。

熊本地震復興に伴い記念碑の建立について

村 長／追悼や鎮魂、復旧の象徴等の観点から前向きに検討する。

熊本地震の

復興状況について

【高本】熊本地震から4年9ヶ月が経過し集落再生地域の古閑や風当、下小森など二部の地域は工事が完了したと伺っている。村全体の復興状況はどのようになっているか。

【村長】宅地復旧関連の事業費総額が現段階で約131億3,700万円、全体の進捗率が88%となっている。

被害が甚大であった6集落につきまして、古閑・下小森・上布田集落は、工事が完了しており、大

切畑・畑・風当・下布田集落については、令和3年3月末の完了予定。地域防災が崩れ対策事業が工事を完了。宅地耐震化推進事業は、令和3年3月末までに完了予定。復興基金の活用は、91%の進捗となっている。

【高本】熊本地震による被災箇所の見落としがあった場合、村としての対応策はあるのか。

【村長】地震直後に応急危険度判定により直接住民へ連絡を取っており、遺漏が無いように努めた。現在地震関連事業で採択することができないので、できるだけ現行法で対応できるように努めたい。

熊本地震復興に

伴い記念碑の

建立について

【高本】村の復興の象徴となる総合体育館の建設も順調に進捗しており、村全体の復興記念碑を建立する計画はあるか。



初代西原村長／荒木三蔵氏像

【村長】追悼や鎮魂、復旧の象徴、災害の記録やその教訓の伝承、防災教育の普及啓発といった必要性や意義がある。総合体育館公園整備も計画しており、「復興を祈念する場」として、その功績を未来に引き継ぐためにも公的な復興記念碑やモニメントの設置を前向きに検討する。

【高本】「関連質問」名誉村民であられる元西原村長の山本佐吉様の記念銅像について、平成

23年第4回定例会において当時の議員より提案され予算化されたが、一議員の反対により施行されなかった。

再度建立の検討を頂けないか。

【村長】過去に、建設に向け、準備を進めていたが、二名の議員の反対があり、建設を断念した経緯がある。この様な事案は、大事な案件であり、議員全員の賛成が必要であるので、再度議論を交わしたい。



よって
YOTTE IKINASSE
いきなっせ

我が国3大脅威の 現況を思う!!

上野 正博

Thinking about the current situation of the three major of threats to japan

感染症、自然災害、安全保障問題

これらは脅威である。

鳥インフルエンザは人への感染は極めて少ないが、養鶏場が出た場合、その養鶏場すべてのにわとりが殺処分になってしまう。

現在、猛威を振るっている新型コロナは中国武漢市で2019年12月に発生し世界的大流行となった。

感染者、死亡者数をみれば新型コロナ感染症の恐ろしさを感じる。新型コロナの爆発的流行により、学校の長期休校や外出規制、イベントの中止等々、経済面へのダメージも大きく、私たちの楽しみも奪われてしまっている。一人一人が感染予防対策

を徹底し、新型コロナが早く収束することを願っております。

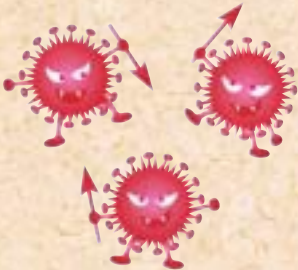
また、自然災害も脅威であり、熊本地震や大雨による球磨川氾濫など、近年では地震や風水害などの想像を絶する被害が発生しており、今後不安が募ります。

さらに日本は昔から隣国の脅威にもさらされている。北朝鮮のミサイル、ロシアの北方領土の軍事基地化、中国の尖閣諸島周辺への領海侵犯などで、自衛隊機のスクランブル発進が上半期だけで371回、令和元年度は947回記録されている。

この3つの脅威がこれ以上大きくならないことを祈り、世界平和を願わずにはいられない。

※スクランブル発進とは

領空侵犯の恐れがある侵入機に対する軍用機の緊急発進。



令和2年11月13日8名の西原中学校生徒が登壇 議場で西原村の村政を質問した!!

《1組》



【山西虎太郎】昨今、子ども達の体力低下が問題となつていきます。

本村の社会体育の現状と解決策はありますか。

【教育長】西原村の子ども達の肥満は増えており、小学校段階で著しいようです。昨年度、県の方針で変更になった部活動の社会体育化と深く関係しているの
か否かは、変更1年目であり不明です。本村では、役場と各学校、2つの保育園が協力して、学校保健委員会をつくり、各学校や家庭に対しデータを示しながら啓発活動を行っています。

また、現在建設が進行している村の総合体育館を中心とした総合型運動クラブ創設のための活動を始めたところです。現在ある社会体育を見直し、総合型スポーツクラブとして一本化し、新たなスポーツの導入と健康長寿を狙った活動も行う計画です。

【玉木陽乃進】熊本地震後、観光客が減少したが、今後観光客を呼び込む為の拠点施設を整備し、雇用創出に取り組むとあ

りますが、観光客は増えているのか、また新型コロナウイルスが広まっている中どのようなイベントを予定していますか。

【企画商工課】観光客の推移については、俵山トンネルルートが全線開通したことで少しづつではあるが、お客さんは増えていきます。今年に入り、新型コロナウイルスの影響を受け、多少減っている月もあったが、萌の里では屋外で広々遊べるスペースがあるということ、大きなお客さんの減少はないと聞いています。

風の里キャンプ場では営業再開からお客さんの数も増え、寒くなった最近でも、キャンプブー

ムも有り、多くの方が来場されています。

イベントについては、今年度は新型コロナウイルスの影響で開催が困難な状況であります。令和3年度、萌の里に、ワンピースのナミの銅像が設置、イベントとして除幕式を行う予定です(ナミ像は現在制作中で設置日は未定)。

【阪本真伍】熊本地震の復旧で給水状況に差があり、断水している期間が他の地域より長い地域がありました。その課題を改善する為、すべての水道を村営水道にすることはできませんか。

【復興建設課】村営水道は、村内に2箇所配水池が有り、配

水池側から被災状況を確認しながら順を追って工事を実施した為、配水池に近い地域と配水池から遠い地域で断水期間の差が生じ、すべての村営水道が復旧するまでに2ヶ月かかりました。

村営水道以外は水道事業者のごとに経営をされ様々な状況や事情があり、容易に村営水道と合併とはなりません。村として今後、村営水道以外の水道事業統合を目指していきたいと思えます。

【岡野 禎輝】本村には母子・父子家庭支援、子ども医療支援、奨学金支援などの子育て支援があります。子供4人以上いるらっしゃる世帯は負担が大きいと思います。子供が多い世帯への支援策はありませんか。

【住民福祉課】結論から申し上げますと4人以上お子様がおられる世帯に対しての支援や出産祝金等の制度は現在ありませんが、ひとり親に対しての医療費2/3の補助、3歳以上の保育料免除・児童手当等の補助支援は行っています。今後、出産祝い金等を含め県内でやっている所もあるので、協議をし、少しでも生活しやすい環境整備を行っていきたいと思えます。



議場で西原村の村政を質問する西原中学校生徒

令和2年度 第1回 西原中学生徒議会定例会

《2組》

【薄波 楽】西原村は勉強する為の静かな場所が少なく、山河の館へ行くには家から遠い子もいます。そこで、各地域に『図書館を作るべきだ』と考えますが、各地域への図書館建設についてどうお考えですか。

【教育長】山河の館の一階部分に図書室が設置されています。蔵書冊数は16,368冊で年々増やしています。図書室の利用者は、地震のあった平成28年度を1とすると、平成29年度が1.2倍、平成30年度が1.27倍、昨年度は、1.22倍と横ばい状態です。しかも中学生の利用状況は成人を100人とした場合、数値は14人程度で、平成30年度の16人を最高に、昨年度まで、ほぼ14人で落ち着いています。このように中学生の活用が低い状況です。

また、昨年度から、中学生が勉強したい場合には、山河の館の向かい側の建物を用意しましたが、昨年度から現在まで3回しか活用されていない状況です。このことから、各地域にある集会所や公民館をぜひ活用していただきたいと思っています。

【藤本 崇汰】朝6時から8時までの登校時間帯に事故が多く発生しています。西原村は歩道



拡張や脇道の草刈りなど、どのような事故予防の取り組みを行っていますか。

【教育長】安全対策として防草工事をしています。更に交通安全プログラムという計画をつくり、隔年あるいは毎年、村内の危険個所のピックアップと保全をしています。今年度は、万徳新所線が整備され、引き続き取り組みを進めていきたいと思っています。

新所や緑が丘からの通学生は一戸村道に出て、交通量の多い県道に出るといふ通学方法をとる必要がありますが、交通量が多くなる現在利用している農道を通る方法を選択しています。しかし、これが通学路になっていない場合、

事故の場合の保障に関わってきますので、現在村と学校が協議し通学路として認めるよう要望しています。

【大田 怜奈】新型コロナウイルス感染拡大予防の為、各種イベントが中止となっています。この状況下で村民の健康増進、スポーツ振興をどう行う予定か。また個人で運動ができるような環境を体育館建設でできませんか。

【教育長】村民の方々にはグラウンド等利用して頂くよう村内の人に限り規制を厳しくはしていませんが利用状況は例年以下になっています。体育館内については運動設備に

関する検討委員会を設け、先進地域を見学しながら検討していきます。できましたら、中学生の目線で体育館内に設置して欲しい機器類やスポーツ種目、スポーツ器具等を提案して頂けないでしょうか。できるだけ皆さん方の要望に応えられるようにしていきたいと思っています。

【内田 舞】本村では医療補助は中学生までとなっていますが、南阿蘇村では高校生まで補助されています。本村でも高校生までを医療補助の対象とすることにより子育て環境が良くなるかと考えます。高校生までの医療補助延長の考えはありますか。

【住民福祉課】現在、医療費補助は中学生までですが、昨年対象者約1,000名に対し2,700万円の助成を行いました。県内で18歳まで助成している自治体は45市町村中26市町村、中学生まで助成している自治体が19市町村あり18歳までに助成している所が多くなっています。

今後、健康面を考えると西原村も18歳までに引き上げる事が必要ではないかと考えています。【村長】村の人口を増やすためにも議会と相談しながら進めていきたいと思っています。



がんばろう!! 職場から SHOKUBA KARA KONNICHWA こんにちは

このコーナーでは、西原村活性化のため、村内で頑張っている方を今後も紹介して参ります。



甘藷 栽培 山下 浩司さん

就農時の経営規模／甘藷120㍓
現在の経営規模／甘藷170㍓
将来の経営目標／甘藷140㍓(達成済)

就農し、2年目となります。前職は農業とは関係のない介護の仕事をしていました。

実家が甘藷農家ということもあり、仕事が休みの日には手伝いをしていました。就農するきっかけは、親から「実家の農業を継いでみないか」と話があったことです。西原村の甘藷は甘くて美味しいため、今後も守っていくべきだと考え農業後継者という形で就農しました。

手伝い程度だった就農前と比べ、就農後は農業経営すべてに携わることとなり、畑、肥料、消毒など親から様々な指導を受け日々理解を深めています。この2年間では、畑ごとに足りない成分やそれを補う肥料は何なのかを考え、与えること、又消毒を適正、安全に実施することで良い甘藷が収穫できることを経験しました。しかし、逆に何か一つでも欠けてしまうと良いものができることも経験しました。

今後の目標としては、農家の悩みの種でもあるイノシシなどの動物による被害を防ぐことです。これまでは、畑への侵入を防止する電柵を張って対策をしていましたが、なかなか被害がなくなることはありません。そのため、更に電柵を増やすこと、又それ以外にも罾を仕掛ける資格の取得を目指して対策をしていきたいです。

今後も美味しい甘藷をたくさんの方へ届けられるよう、追及、対策を行っていきます。



甘藷 栽培 高本 祐史さん

就農時の経営規模／甘藷80㍓・水稻20㍓
現在の経営規模／甘藷80㍓・水稻20㍓
将来の経営目標／甘藷200㍓・水稻20㍓

就農して早1年が経とうとしており、これまで新規就農に際してサポートをいただいた地元農家の方や関係機関の方などには大変感謝しています。

私は高校と大学で農業を学び、卒業後は農業高校で教鞭を執り、その後は肥料会社の営業職として勤務するなど、これまで「農」について携わってきました。

しかし、まだまだ現場での経験は少ないため、後は現場力を向上させながら、経営基盤をしっかりと持ち、農業経営を安定させていきたいです。

1年目の今作は甘藷80㍓を栽培し、無事に収穫を迎えることができました。2年目以降は更なる安定生産はもとより、休耕地などを有効活用した規模拡大や地元雇用の創出を目標に取り組んでいきます。

今後も西原村の農業活性化に貢献できるよう頑張っていきますので、地元農家の方や関係機関の方におかれましては、今後も引き続き、ご指導の程よろしくお願い致します。また、地元の方々と共に、地域を盛り上げていけるよう頑張ります!!



- 発行責任者
議長 山下一義
- 広報委員
- 委員長 坂本隆文
 - 副委員長 堀田直孝
 - 委員 小城保弘
 - 委員 高本孝嗣
 - 委員 尾崎幸穂

文責／高本孝嗣

《議員の重責》
今回の議会は私にとって初めての定例会でありました。定例会で一般質問をさせて頂き、その質問の中で、関連質問として元西原村長山本佐吉氏の記念碑(胸像)の建立について質問をさせて頂きました。名誉村民になられた山本佐吉元村長の胸像建立については、かつて私の元上司でありました山西元議員の提案により建立予算が計上されました。しかし、惜しくも議員の反対により執行されなかった経緯があります。今回日置村長より「大事な案件であり再度一般質問で議論を交わしたい。またこの様な案件は、議員全員の賛成が必要である。」と答弁があり、その言葉を私は真摯に受け止め、改めて一議員としての重責を感じたところでありました。

